

普及センターだより

# くりはら

## 第146号



みやぎの普及

普及活動標語

思いを形にあなたのチャレンジ支えます。  
応援します。農業普及

〒987-2251 栗原市築館藤木5-1  
TEL 0228-22-9437 (地域農業班)  
0228-22-9404 (先進技術班)  
FAX 0228-22-6144  
E-mail khnokai@pref.miyagi.lg.jp  
URL:https://www.pref.miyagi.jp/site/khnokai/



### 宮城県栗原農業改良普及センター



黄金色に輝く稲穂と  
ねじりほんによ

『だて正夢』の栽培技術向上を  
目指して栽培塾を開催しました!



今年の稲作は、晩期栽培傾向で田植盛期が平年より4日遅かったものの、6月の高温・多照によって生育が平年並みになりました。その後、7月の日照不足と低温により、生育が緩慢となって出穂盛期は平年より1週間ほど遅くなりました。また、各地で葉いもち病が散見される状況でした。出穂後は高温・多照が続き9月15日現在の宮城県北部の作況は102のやや良となっています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症による経済への影響も大きくなっており、本年4～6月期GDPは前年同期比1割減です。栗原市内の農業法人からは「外食産業や卸からの直接受注が減った」との悲嘆が聞かれる一方、巣ごもり需要により「ネット販売や農産物直売店舗等での直販が増えた」との声も

あります。コロナ禍の中でも食材需要はやはり底堅いものがあり、農業者としては、手洗い・マスク着用・身体的距離確保・3密回避等の感染症予防対策、「新しい生活様式」を実践しつつ、新たな経営環境に対応するビジネスモデルを検討して実践することが重要です。

当普及センターも、これまでとは異なる環境の中、感染防止に配慮しながら普及活動を行ってまいりました。今後も、栗原の農業者の皆様に、より有利に経営展開いただくことを期待し、スマート農業技術や園芸関連事業等の情報提供に努めてまいります。

農業普及指導専門監  
佐藤 啓一

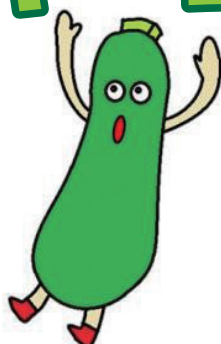
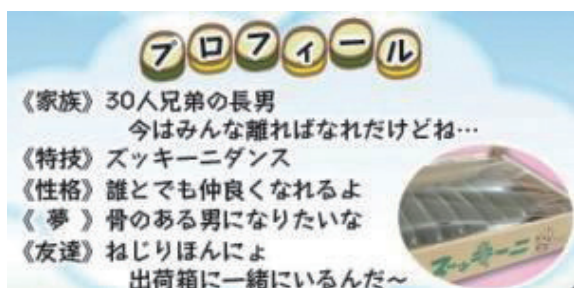
実りの向上を目指して土づくりを実施しましょう

## 栗っこズッキーニ キャラクターの名前が決まりました

ズッキーニ生産拡大プロジェクト Z-1（JA新みやぎ栗っこ・栗原市・宮城県栗原農業改良普及センター）では、栗原市をズッキーニの一大産地にするため、作付面積拡大と消費拡大を図る取組をしています。これまで使用してきたキャラクターをみなさまに知っていただき、栗っこズッキーニをより身近に感じていただくため、今年7月15日から8月14日まで栗っこズッキーニキャラクターの名前を募集しました。

北は北海道から南は鹿児島まで総数360通を超えるたくさんの御応募をいただき、選考委員による選考の結果、応募作品の中から下記の名前が選ばれました。

名前は **クリハッキーニヨ** です！



【名付け親】栗原市志波姫 引地様

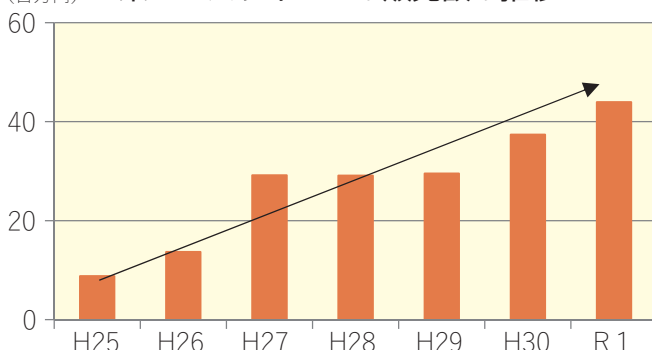
【名前の由来】

栗原のクリとズッキーニを掛け合わせ、栗原市マスコットキャラクターねじりほんによの相棒になるかと、“ニヨ”もつけました。



選考委員会の様子

(百万円) 栗っこズッキーニの販売額の推移



普及センターでは、平成26年度に栗原市、JA栗っこと連携し、ズッキーニ生産拡大プロジェクト Z600（目標栽培面積600a）を立ち上げ、ズッキーニの生産振興と消費拡大の活動を展開してきました。平成28年度には販売金額1億円を目標にプロジェクト名を「Z-1」に改め一層の取組の強化を図り、栽培講習会や現地検討会の実施のほか、新規作付けへの誘導活動により栽培面積、出荷量の向上を図ってきました。併せて、消費拡大を図る産地PR活動にも力を入れ、栗原市内や仙台市の飲食店で栗原ズッキーニを使った料理が食べられる「栗原ズッキーニウィーク」の開催や、市内小中学校給食でのズッキーニ利用と産地紹介資料配付、市内外イベントでのズッキーニ即売などに取り組んできました。

その結果、販売額はプロジェクト開始前の5倍にまで増えています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で思うように産地PR活動ができない状況ではありますが、ズッキーニ生産拡大プロジェクト Z-1 では、今回名前が決まった「クリハッキーニヨ」とともに栗原市がズッキーニの一大産地になるよう取り組んで参りますので、今後とも応援をお願いします。



# 栗原地域農業普及現地活動について



## 活動報告 1 ▶ 栗原地域普及活動検討会を開催しました

栗原農業改良普及センターでは、効率的で効果的な普及指導活動を推進するため、外部有識者から普及活動の内容や手法、今後の普及事業のあり方等について検討いただく普及活動検討会を開催しています。

今年度は9月9日に、プロジェクト課題「中山間地域における小果樹類の生産性向上及び新商品開発」について花山ふさすぐりほ場の現地視察と活動の検討を行い、検討委員の方々からは作業効率の面からの栽培技術のアドバイスや、地域振興として良い課題である等の御意見をいただきました。

また、ICTの活用、GAPの取り組みへの支援や、法人化した営農組合への継続支援など普及センター活動全般にわたっても御検討をいただきました。



## 活動報告 2 ▶ 花山ルビィふさすぐりフェアを開催しました！



9月19日(土)から10月10日(土)まで、スイーツフェア「花山ルビィふさすぐりフェア」を開催しました。フェアには、栗原市、仙台市及び大崎市の洋菓子店14店舗が参加し、ケーキ、焼き菓子、ジェラート及びジャム等を販売し、好評を得ました。

ふさすぐりの収穫期間は6月下旬から2週間

と短く、高齢化が進む花山地区においては、十分な収穫労力が確保できないことが課題でしたが、今年度は、栗原市内の洋菓子店スタッフが、ふさすぐりの収穫を応援し、その果実を使って商品化する取り組みを実施しました。

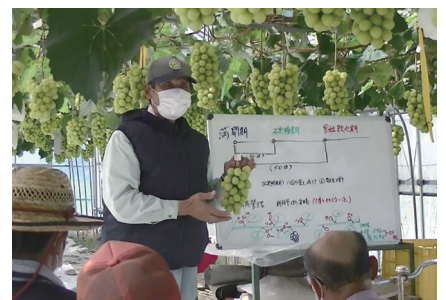
さらに、一迫商業高等学校の生徒が地域応援プロジェクトとして、ミニのぼり等PRグッズのデザイン制作、Webアンケートによる効果測定に取り組み、フェアを盛り上げました。素材の生産から販売まで地域連携で取り組み、フェアを通して「花山」、「ふさすぐり」をPRしました。

## 活動報告 3 ▶ シャインマスカット栽培のスキルアップを支援しています！

栗原農業改良普及センターは、新たな園芸品目として期待されているシャインマスカットの栽培技術向上に取り組んでいます。管内でいち早く栽培に取り組んだ株式会社アグリ東北ほ場で、同社の田中代表取締役を講師に研修会を開催しました。

栽培上特に経験が必要な作業にフォーカスし、6月16日には房づくり、9月8日には収穫適期判断をテーマに開催しました。これまで延べ24人が参加し、技術や事例を知る機会として

だけでなく、栽培者同士の意見交換の場にもなっています。12月に整枝せん定をテーマに開催予定ですので興味のある方は栗原農業改良普及センターへ御連絡ください。



## 活動報告 4 ▶ 水稲品種「だて正夢」の地域栽培塾を開催しました ▶

8月24日に栗原市内の「だて正夢」生産者を対象とした「だて正夢」栗原地域栽培塾を築館地区で開催し、生産者・関係機関などが今後の栽培管理等について学びました。

室内研修では、全農宮城県本部から米の需給・販売動向や本年度の「だて正夢」PR活動など、最新の米穀情勢について報告を受けた後、普及センターからこれまでの生育の振り返りや今後の収穫・調製のポイントなど、「だて正夢」の栽培管理技術について説明するとともに、県内で高品質安定生産を実現している優良事例も紹介しました。現地研修では、築館地区の「だて正夢」現地栽培技術普及展示ほの生育状況を見学しました。生産者同士の情報交換も行われ、

適期刈取りや適正な乾燥調製について意識を高める契機となりました。

普及センターでは、「だて正夢」が高品質で良食味の評価が得られるよう、今後も関係機関と連携し支援していきます。



## 活動報告 5 ▶ 栗原ふぁーみんぐ女子会2020 ▶



8月19日(水)に栗原合同庁舎において、栗原市内の女性農業者の交流を促し、ネットワークづくりと資質の向上を図ることを目的とした「栗原ふぁーみんぐ女子会2020」を開催しました。株式会社仲和ファーム取締役の鈴木和恵氏(若柳)から「夫婦で取り組む法人経営」、新規就農者の門傳菜々子氏(一迫)からは「私が目指す農業経営」と題して成果を発表していただき、その後、お互いの経営の課題など活発な意見交換が行われました。

## ＜新任農業士の紹介＞

青年農業士 大場 孝太郎さん

令和2年度に宮城県青年農業士に認定された栗原市若柳畑岡地区の大場孝太郎さんは、家族と水稲10ha、レンコン50a、施設とうもろこし15aを経営しています。水稲は、高品質・良食味及び多収穫を目標として取り組んでいます。レンコン栽培は、始めて9年目となります。伊豆沼レンコン育成協議会に参加して「伊豆沼蓮根」ブランドで直売所等に出荷しています。最近、ハウスの有効利用としてとうもろこしの施設栽培も取り組み始めました。

### 【大場孝太郎さんからのひとこと】

今年度、青年農業士になりました大場孝太郎です。まだまだ、人としても農家としても未熟ですが、地域の農業を盛り上げていけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します！



農地中間管理事業を活用しましょう